

## 「次世代継承に向けて」

大阪高体連柔道専門部  
部長 田中 忠一

日頃より大阪高体連柔道専門部の活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。このたび、部長に就任いたしました田中忠一です。大阪の高校柔道がより一層発展し、未来へと継承されるよう尽力してまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

昨年度はオリンピック競技大会がフランス・パリで開催され、日本代表選手が見事な戦いを繰り広げ、世界の舞台でその実力を証明し多くの選手が表彰台に上がる活躍を見せました。こうした結果の背景には、幼少期からの徹底した基礎・基本の鍛錬、礼節を重んじる姿勢、そして何よりも柔道に対する真摯な取り組みがあると感じています。

高校柔道においても、これらの要素を大切に次世代へとつなげていくことが重要です。柔道は技術だけでなく、精神面の成長を促す武道でもあります。礼儀を重んじ、相手を尊重し、思いやる心を育むことが、人間的な成長につながります。単に試合の勝敗にこだわるのではなく、柔道を通じて学ぶ姿勢や考え方を大切にしたいと思っております。

そのためには、日々の積み重ねが欠かせません。基礎基本を徹底し、繰り返し鍛錬することで、確かな技術が身につきます。また、どんなに厳しい状況にあっても、乗り越えるための努力を惜しまないことが、成長への近道となります。目標を持ち、それに向かって粘り強く取り組む姿勢を大切にしてください。

次世代への継承という観点では、柔道の普及活動も大切です。競技としての柔道だけでなく、礼節や精神力を養う武道としての柔道を、より多くの人々に知ってもらうことが必要です。そのために、地域の子どもたちに柔道の魅力を伝える活動や、指導者の育成にも力を入れていくことがとても重要です。柔道を通じて得られる経験や学びが、次世代の選手たちにとってかけがえのない財産となるよう、私たち指導者も全力でサポートしていきたいと思っております。

柔道は、一人で完結するものではありません。仲間や指導者、家族、支えてくれるすべての人々への感謝の気持ちを忘れず、互いに尊重し、高め合うことで、柔道の価値がより深まります。これからの高校柔道が、技術だけでなく、人としての成長を促す場となることを願っております。

最後になりましたが、大阪の高校柔道のさらなる発展と次世代への継承を心より祈念し、巻頭のご挨拶とさせていただきます。